

NY マーケットレポート (2017 年 11 月 28 日)

NY 市場では、序盤に発表された米消費者信頼感指数が市場予想を上回り、2000 年 11 月以来 17 年ぶりの高水準となったことや、住宅関連、製造業関連の経済指標が軒並み高い伸びとなったことを受けて、ドルは主要通貨に対して上昇した。しかし、次期 FRB 議長に指名されたパウエル FRB 理事の指名承認公聴会で、緩やかな利上げを維持する意向を示したことや、米民主党幹部が予定されていたトランプ米大統領との会合参加を拒否したことを受けて、ドルは軟調な動きとなった。その後、英国と EU が、離脱清算金で原則合意に達したとの報道を受けて、ポンドが主要通貨に対して大きく上昇し、ドル円やクロス円も連れ高となった。そして、北朝鮮が弾道ミサイルを発射したとの報道を受けて、リスク回避の円買いが強まる場面もあった。ただ、下げ一巡後は、米上院予算委員会で税制改革法案が可決したとの報道を受けて、米株価が再び上昇に転じ、ドルが主要通貨に対して上昇となり、クロス円も堅調な動きとなった。

2017年11月28日 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	111.30	111.32	110.93
EUR/JPY	132.31	132.47	132.10
GBP/JPY	148.28	148.50	147.84
AUD/JPY	84.58	84.68	84.39
EUR/USD	1.1889	1.1911	1.1886

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	22486.24	-9.75
ハンセン指数	29680.85	-5.34
上海総合	3333.66	+11.43
豪ASX200	5984.25	-4.52
インドSENSEX	33618.59	-105.85

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	7460.65	+76.75
仏CAC40	5390.48	+30.39
独DAX	13059.53	+59.33

米国主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	23836.71	+255.93
S&P500	2627.04	+25.62
NASDAQ	6912.36	+33.84

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	111.40	111.64	111.08
EUR/JPY	131.95	132.41	131.73
GBP/JPY	148.81	149.28	146.99
AUD/JPY	84.62	84.82	84.53
EUR/USD	1.1845	1.1900	1.1827

南北米主要株価	終値	前日比
トロント総合	16029.64	-12.48
ボルサ指数	47229.16	-46.16
ボベスパ指数	74139.75	+80.84

*一部暫定値

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1294.90	+0.50
NY 原油	57.99	-0.12

11/29 経済指標スケジュール

08:50	【日本】10月百貨店・スーパー販売額
08:50	【日本】10月小売業販売額
09:01	【英国】11月BRC店頭価格指数
15:00	【南アフリカ】10月マネーサプライM3
16:00	【スイス】10月UBS消費指数
16:45	【フランス】10月消費者支出
16:45	【フランス】3Q GDP
17:30	【スウェーデン】3Q GDP
17:30	【スウェーデン】11月消費者信頼感指数
18:30	【英国】10月消費者信用残高
18:30	【英国】10月住宅証券融資高
18:30	【英国】10月住宅ローン承認件数
19:00	【欧州】11月鉱工業信頼感
19:00	【欧州】11月消費者信頼感・11月経済信頼感
19:00	【欧州】11月サービス業信頼感
19:00	【欧州】11月業況判断指数
21:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
22:00	【ドイツ】11月消費者物価指数
22:30	【米国】3Q GDP
22:30	【米国】3Q個人消費
00:30	【米国】EIA原油在庫
04:00	【米国】米地区連銀経済報告[ページブック]

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.75%	1.74%
3年債	1.84%	1.83%
5年債	2.06%	2.05%
7年債	2.22%	2.22%
10年債	2.33%	2.33%
30年債	2.76%	2.77%

ドイツ10年債	0.34%	0.34%
英国 10年債	1.25%	1.25%

11/29 主要会議・講演・その他予定

- ・欧州議会本会議 (～30日)
- ・イエレンFRB議長 議会証言
- ・ニューヨーク連銀総裁 講演
- ・サンフランシスコ連銀総裁 講演

NY 市場レポート

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] 203.50 (前回 202.68)

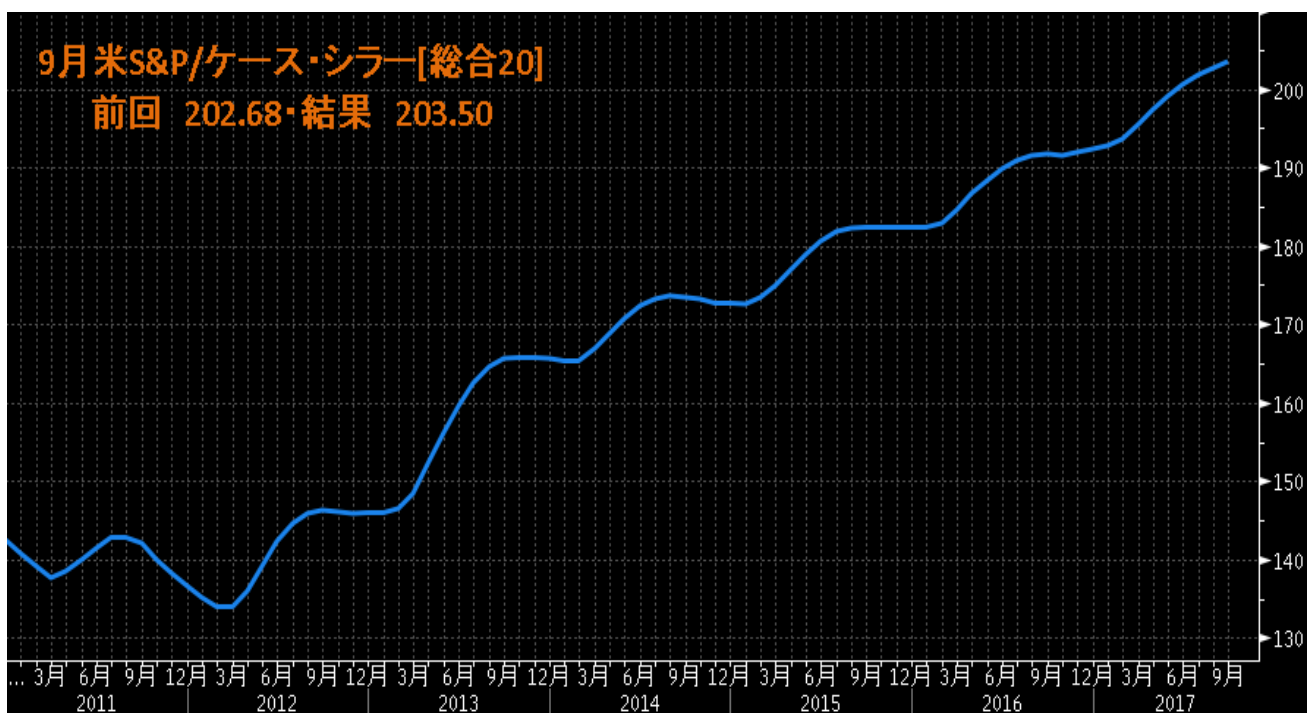
前回発表の 202.87 から 202.68 に修正

9 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] (前月比) 0.52% (予想 0.30%・前回 0.44%)

前回発表の 0.45% から 0.44% に修正

9 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] (前年比) 6.19% (予想 6.04%・前回 5.82%)

前回発表の 5.92% から 5.82% に修正



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀ S&P/ケース・シラー住宅価格指数 ▶

(米主要 20 都市) 季調前

9 月・・・8 月・・・7 月・・・6 月・・・5 月

指数・・・203.50・・・202.68・・・201.90・・・200.50・・・199.06

前月比・・・0.40・・・0.39・・・0.70・・・0.72・・・0.88

前年比・・・6.19・・・5.82・・・5.77・・・5.63・・・5.74

(米主要 10 都市) 季調前

9 月・・・8 月・・・7 月・・・6 月・・・5 月

指数・・・217.27・・・216.23・・・215.38・・・213.76・・・212.40

前月比・・・0.48・・・0.39・・・0.76・・・0.64・・・0.80

前年比・・・5.70・・・5.21・・・5.10・・・4.88・・・5.00

9 月の米主要 20 都市の住宅価格指数は、前年比+6.2%と 2014 年 7 月以降で最大の伸びとなった。前月比は+0.52%だった。住宅価格指数は、20 都市全てにおいて前年比で上昇。上昇率が最も大きかったのはシアトルで+12.9%、次いでラスベガスが+9%だった。季節調整後の月間ベースでも 20 都市全てで上昇となり、アトランタが+1.3%と最大の伸び、次いでサンフランシスコが+1.1%となった。

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11月米消費者信頼感指数 129.5 (予想 124.0・前回 126.2)
 前回発表の 125.9 から 126.2 に修正



経済指標データ

◀消費者信頼感指数▶

11月・10月・9月・8月・7月
 信頼感指数・・・129.5・126.2・120.6・120.4・120.0
 現況指数・・・153.9・152.0・146.9・148.4・145.4
 期待指数・・・113.3・109.0・103.0・101.7・103.0

【現況指数】

業況
 良好・・・34.9・34.4・33.4・34.5・32.5
 悪化・・・12.7・13.5・13.2・13.2・13.5
 普通・・・52.4・52.1・53.4・52.3・54.0

【雇用】

十分・・・37.1・36.7・32.7・34.4・33.2
 不十分・・・46.0・46.2・49.3・47.2・48.1
 困難・・・16.9・17.1・18.0・18.4・18.7

【半年先】

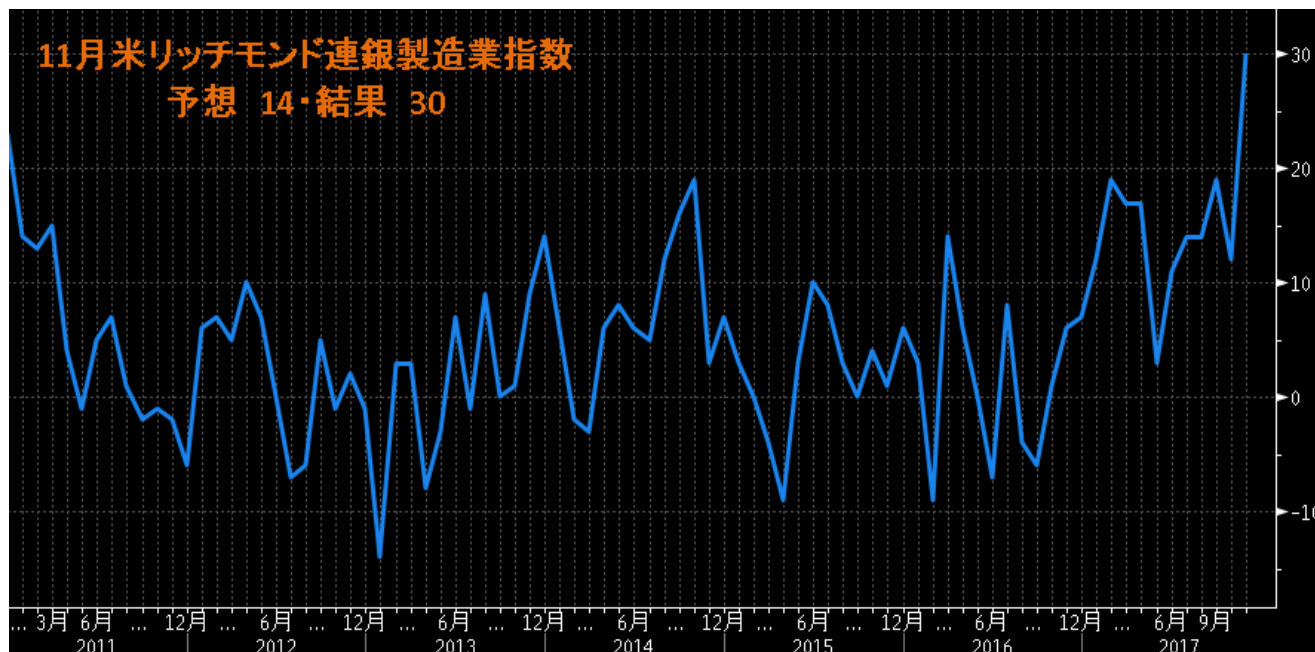
業況
 改善・・・22.4・22.1・20.9・19.8・22.4
 悪化・・・6.5・7.0・9.6・8.0・8.4
 横ばい・・・71.1・70.9・69.5・72.2・69.2
 雇用
 改善・・・22.6・18.7・19.2・16.8・18.5
 悪化・・・11.0・11.6・13.0・13.2・13.2
 横ばい・・・66.4・69.7・67.8・70.0・68.3

11月の米消費者信頼感指数は、市場予想を上回る129.5（1985年=100）となり、前月改定値の126.2から3.3ポイント上昇し、2000年11月以来17年ぶりの高水準となった。景気の現状に対する信頼感指数は153.9（前月152.0）、向こう半年の期待指数は113.3（109.0）といずれも上昇した。雇用関連では、現状は「職が豊富」と答えたのは37.1%（前月39.7%）、「就職が困難」は16.9%（17.1%）、向こう半年では「求職が増える」との回答は22.6%（18.7%）、「求職が減る」は11.0%（11.6%）となった。また、向こう1年間のインフレ見通しは4.5%（4.7%）。

0:00

《 経済指標の結果 》

11月米リッチモンド連銀製造業指数 30（予想 14・前回 12）



出所：Bloomberg

経済指標データ

《 リッチモンド連銀製造業指数 》

	11月	10月	9月	8月	7月
景況指数	30	12	19	14	14
出荷	33	9	22	8	13
新規受注	35	17	20	17	18
受注残	21	7	8	11	11
雇用者数	18	10	15	17	10
賃金	21	24	17	18	17

0:35

《 要人発言 》

パウエル次期FRB議長～上院の銀行住宅都市委員会の公聴会

- ・「さらに幾分か引き上げのことを想定している」
- ・「力強い労働市場を維持し、物価上昇率を目標の年2%まで高めることが金融政策の目的」
- ・「米金融当局のバランスシート調整は3-4年かかる」
- ・「バランスシートは2.5兆-3兆ドル規模に」
- ・「FRBの独立性、トランプ政権の誰も脅かしていない」
- ・「賃金は労働市場のひっ迫を示唆していない」
- ・「景気に過熱感はない」
- ・「サイバーセキュリティ、米銀にとり最大のリスクにも」

- ・「米国には大き過ぎて潰せない銀行は存在しない」
- ・「財政赤字の長期的な持続性を懸念」
- ・「米金融当局にとって金利正常化の時だ」
- ・「利上げに対する忍耐強さ、FOMCに役立っている」
- ・「金融システムは非常に強固」
- ・「今年の GDP 伸び率は 2.5%、来年もそれに近い伸び」
- ・「12 月利上げの論拠は強まっている」
- ・「ボルカー・ルール[※]の修正を支持する」
- ・「12 月利上げに向け、状況は整っている」
- ・「現在の強い成長、漸進的な利上げを正当化」
- ・「金利は上昇途中にあり、預金者を支援する」

2 : 50

英国と EU、離脱に原則合意との報道



出所 : Net Dania

3 : 00

≪米財務省 7 年債入札≫

最高落札利回り・・・2.230% (前回 2.280%)
 最低落札利回り・・・2.096% (前回 2.170%)
 最高利回り落札比率・・・34.83% (前回 59.49%)
 応札倍率・・・2.36 倍 (前回 2.39 倍)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、英国の主要 7 銀行がストレステスト（健全性審査）に合格したことで買い安心感が広がり、主要株価は堅調な動きとなった。また、米国株が上昇して始まったことも下支え要因となった。



出所：Bloomberg

3：30

北朝鮮が弾道ミサイルを発射との報道



出所：Net Dania

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 0.50 ドル高の 1 オンス=1294.90 ドルで取引を終了した。

NY 金は、米税制改革の先行き不透明感や北朝鮮情勢への懸念を背景に、比較的安全な資産とされる金の買いが優勢となった。ただ、ドルが主要通貨に対して上昇したため、やや上値が抑えられた。



出所：Bloomberg

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 0.12 ドル安の 1 バレル=57.99 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、30 日に予定される OPEC と非加盟国の会合で協調減産の延長が決まるかどうか不透明感が広がり、売りが優勢となった。ただ、その後は下げ幅を縮小する動きとなった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

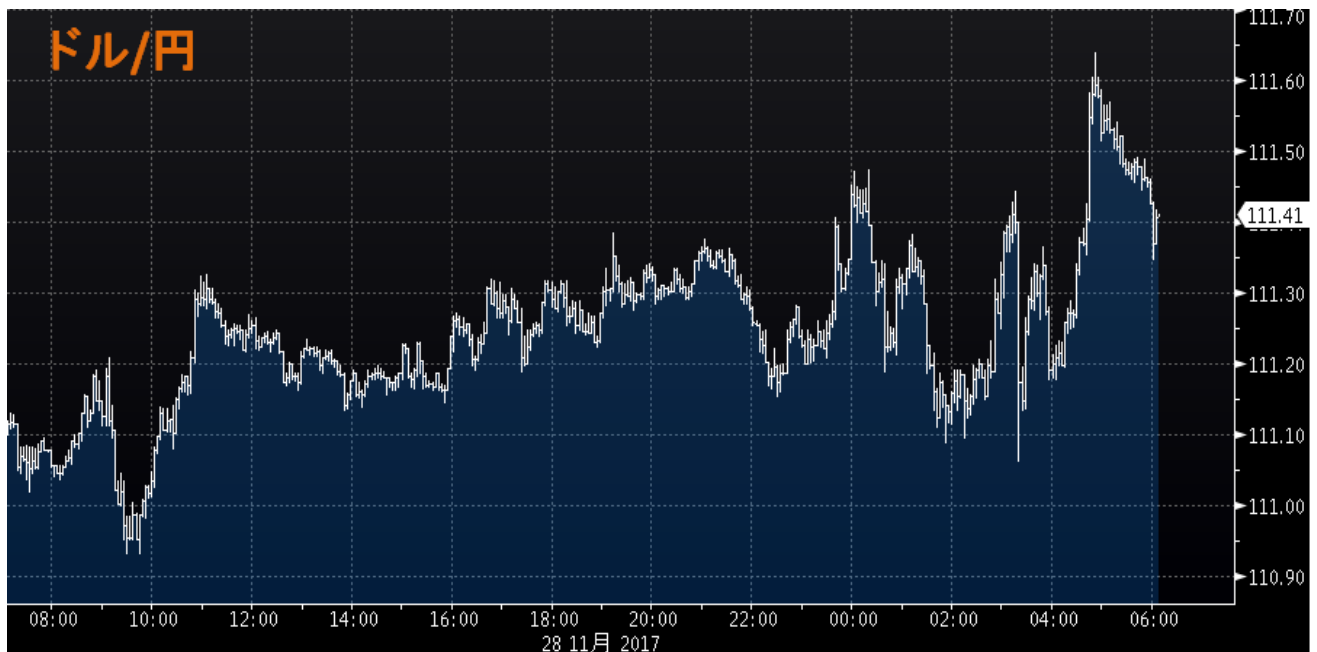
米株式市場は、米国の年末商戦への期待感が引き続き材料視され、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。その後、北朝鮮がミサイルを発射したとの報道を受けて、リスク回避の動きから上げ幅を縮小したが、米上院予算委員会で共和党の税制改革法案を可決との報道を受けて再び堅調な動きが続き、ダウ平均株価、ナスダックなどが取引時間中に終値ベースの最高値を更新した。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤は米経済指標が良好な結果となったことから、ドルが主要通貨に対して上昇した。その後、北朝鮮が弾道ミサイルを発射したことを受けて、リスク回避の動きが強まる場面があったが、日本の安全保障に影響はないことや、米上院の税制改革法案が可決したことを受けて、ドルは主要通貨に対して上昇となった。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。